



HPはこちら

はちおうじ NEWS

2020年12月12日 No.2

JR東日本労働組合

八王子地本 教宣部

第8回定期大会を開催

組合員の顔が見える運動を進めていく！

八王子地方本部は12月8日、八王子労政会館において「第8回定期大会」を開催しました。佐藤執行副委員長の司会で開会し、冒頭、清水執行委員長は挨拶に立ち、コロナ禍における時代認識をはじめ、私たちを取り巻く情勢や今後の取り組みを提起し「私たちの課題も多いが、組合員一人ひとりが意識した活動の賜物で第8回の大会を開催することができた。この気持ちを忘れずに活動を続け前進していこう」と、さらなる奮起をうながしました。

中央本部を代表して生田書記長からは、コロナ禍における東日本ユニオン運動の展開と、年末手当の取り組み、組織拡大の報告と決意が語られ、引き続き組合員第一の活動を進めていくとの考えが示されました。



質疑では、出席した代議員から「ワンマン運転化や各種施策の実施に伴う車掌の将来展望」「年末手当の取り組み」「駅業務の委託化」「出向会社の再編等に伴う問題」「中央線12両化に関する意見」など、活発な討議が行われました。

根岸書記長は「各種の問題については団体交渉を通して解決をめざす」とした上で「今後の組織のあり方を含め、組合員一人ひとりの顔が見える運動を八王子地本全組合員で進めていこう！」と質疑を集約しました。

大会の最後の「団結ガンバロー」は、清水執行委員長が新型コロナウイルス感染防止の観点から「出席者一人ひとりの胸の中でこぶしを振り上げ、気持ちを一つにしよう」と呼びかけ、気持ちは熱く、場は静かに大会を締めくくりました。

新たな運動方針を確立しました！一年間、よろしくお願ひします！